

クビアカツヤカミキリ の概要と対策手法

1

愛知県 環境局 環境政策部 自然環境課

1 基本的事項

- 原産地：中国、朝鮮半島、台湾、ベトナム
- 体長：22～38 mm
- 体色：全体は光沢のある黒色、前胸部が赤い
- 食樹：主にバラ科（サクラ、ウメ、モモ、スモモ等）

サクラよりはモモ・スモモで被害が出やすい

- 生態：幼虫は生木の内部で木部を食して成長。樹木内で1～3年過ごした後、羽化して樹木の外に出る（幼虫が活発にフラスを排出するのは4～11月）。成虫の活動期間は6～8月、発酵した樹液等を摂食する。
- 繁殖：樹皮の割れ目等に産卵

一度の産卵で1,000以上の卵を産み、繁殖力が極めて高い



戸田尚希氏提供

2 被害の確認方法

他種との見分け方（フラス編）

- ひき肉状に固まったもの ⇒ クビアカ
ただし、古いと風化して一見粉状に
ごま粒をスライスしたような粒子を含む
- ゴマダラカミキリと似るが、
ゴマダラは大きな繊維が
目立つ場合が多い
（予防的処理を推奨）



2 被害の確認方法

他種との見分け方（フラス編）

- 赤褐色で、ひき肉状に固まったもの ⇒ **クビアカ**
ただし、古いと風化して一見粉状に
ごま粒をスライスしたような粒子を含む
- 粉末状で色が暗い
⇒ シリアゲアリ類



2 被害の確認方法

他種との見分け方（フラス編）

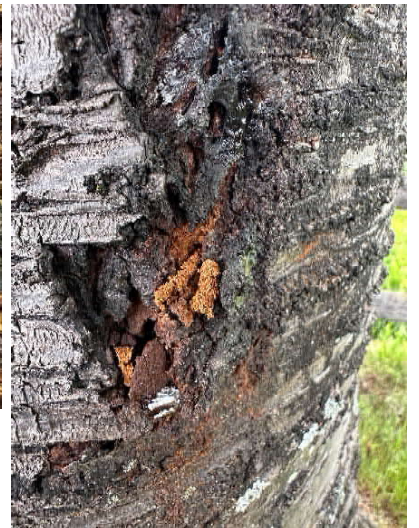
- ひき肉状に固まったもの ⇒ **クビアカ**
ただし、古いと風化して粉状に
ごま粒をスライスしたような粒子を含む
- ヤニの塊とひとまとまりになった糞
- 大きさの揃った球状の粒子
⇒ ガ類（コスカシバ、ヒメボクトウ）



2 被害の確認方法

スマートフォンでも特徴が分かる写真を撮影可能

※引きの写真（フラスの排出量が分かるもの）もあるとよい



2 被害の確認方法

他種との見分け方（脱出口編）

- 主に生材部に楕円の穴＋大量のフラス
⇒ クビアカ
- 古い材部に楕円の穴
⇒ ウスバカミキリ
 - 主に死んだ材を摂食
 - 都市部でも見られる
 - フラスはゴマダラと同じ繊維状



クビアカ



ウスバ



ウスバ

2 被害の確認方法

他種との見分け方（脱出口編）

- 主に生材部に楕円（長径2～3cm）の穴
＋大量のフラス
⇒ クビアカ
- 生材部に真ん丸（直径1～1.5cm）の穴
⇒ ゴマダラカミキリ



クビアカ



ゴマダラ



ゴマダラ

3 防除方法（物理的防除）

掘り取り・刺殺

- 最低限の樹皮を剥ぎ、幼虫を掘り出す
- トンネルの奥にいる場合は突き殺す
- 成虫は踏みつぶすか叩きつぶす（手袋着用）
- 必要なもの：鉋、金槌（釘抜き付き推奨）、針金等

○ 確実 ○ 安価

✕ 手間がかかる

△ ある程度の慣れが必要、
人によっては心理的抵抗？



3 防除方法（化学的防除）

エアゾール剤

- 排出口からフラスを掘り出し、薬剤を噴霧
- 必要なもの：薬剤、針金・千枚通し・竹ひご等

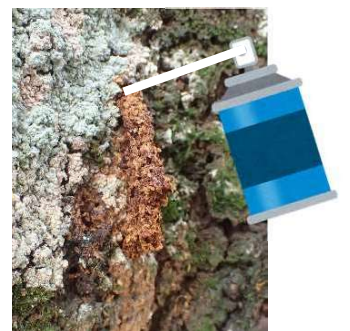
○△ 手間・費用とも中程度

！ 薬剤を幼虫に到達させるため、

トンネル内のフラスをしっかりと取り除くことが必要

× 効果の確認に数日かかる

！ 腐朽防止のため、切り口には殺菌ペーストを塗布（推奨）



3 防除方法（化学的防除）

樹幹注入剤

- 樹体の低い位置に薬剤を打ち込み、
水や養分の流れに乗せて樹体内に行き渡らせる

- 効率的に処理できる ✕薬剤が高価
- ✕被害が大きいと効きにくい（**使うなら被害初期**）
- ！腐朽防止のため、切り口には殺菌ペーストを塗布（推奨）
- ！処理後も経過観察が必要



3 防除方法（化学的防除）

樹幹散布剤

- 樹幹に薬剤を吹き付けて、表面の成虫や樹皮下の若齢幼虫を殺す & 産卵防止
- 散布時期は成虫シーズン（特に発生初期）

- 効率的に処理できる
- × 内部の幼虫には効かない（樹皮下まで）
- ！ 周囲への飛散可能性
- ！ 効果は天候に左右される
- ！ 処理後も経過観察が必要



3 防除方法（最終手段）

伐倒

- 拡散を防ぐため、被害木を伐採して中の幼虫を駆除
- 伐倒後は破碎（チップ化）・燻蒸・焼却



○伐採後、燻蒸orチップ化することで確実に処理可能

⇒ 推奨！（特に、被害が大きい樹木（脱出孔が一つでもある等））

- | | | | |
|-----------------|---|---|--------------------|
| ×高額 | } | → | 特に民地では
難しい場合が多い |
| ！所有者の許諾が必要 | | | |
| ！切り株に幼虫が残る可能性あり | | | |
- ⇒ 可能なら抜根
難しければシート・セメント等で被覆



3 防除方法（拡散防止・被害予防）

ネットの巻き付け

- 0.3～4mm目の防鳥ネットを使用
- 外からの産卵も防止(0.3mm目かつ白色が理想)

！ぴっちり巻くと、木からの脱出時に噛み切られる
⇒ ゆったりめに巻く

！口をしっかり塞ぐとともに、根まで覆うことが必要

！2～3日に1回見回り → 確認した成虫は捕殺
(見回りをしないと、ネット内で羽化→産卵すること
で被害が激甚化するおそれも)

